Pro-face



機器接続マニュアル



機器接続マニュアルに関する注意事項・

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

15.2 三菱電機(株)製インバータ

15.2.1 システム構成

三菱電機(株)製インバータとGPを接続する場合のシステム構成を示します。

重要・信号線の断線やGLC/GPの故障などの理由で通信が途切れる異常が発生しても、インバータ側では異常の検出を行えませんので、インバータの交信リトライ機能や交信チェック機能を使用して 危険防止を行ってください。機能の詳細については、三菱イン

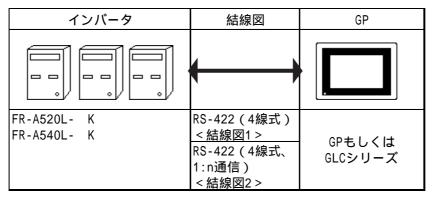
バータ各機種の取扱説明書を参照してください。

FREQROL-A500 シリーズ

インバータ	結線図	GP
FR-A520- K FR-A540- K	RS-422(4線式) <結線図1> RS-422(4線式、 1:n通信) <結線図2>	GPもしくは GLCシリーズ

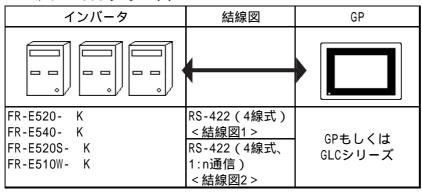
は各インバータ容量です。

FREQROL-A500L シリーズ



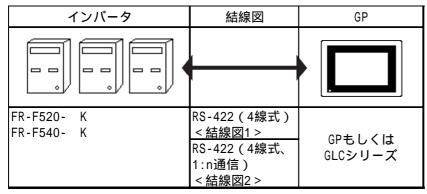
は各インバータ容量です。

FREQROL-E500 シリーズ



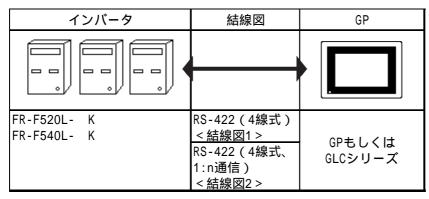
は各インバータ容量です。

FREQROL-F500 シリーズ



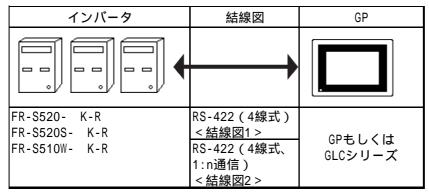
は各インバータ容量です。

FREQROL-F500L シリーズ



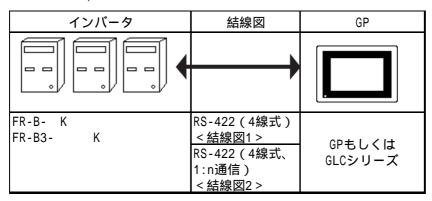
は各インバータ容量です。

FREQROL-S500 シリーズ



は各インバータ容量です。

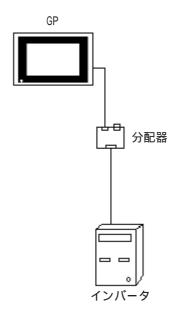
FREQROL-B, B3シリーズ



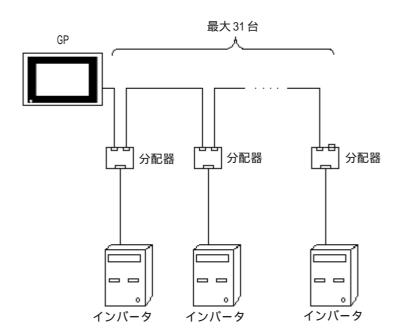
は各インバータ容量です。

接続構成例

<1:1接続>



<1:n接続>



15.2.2 結線図

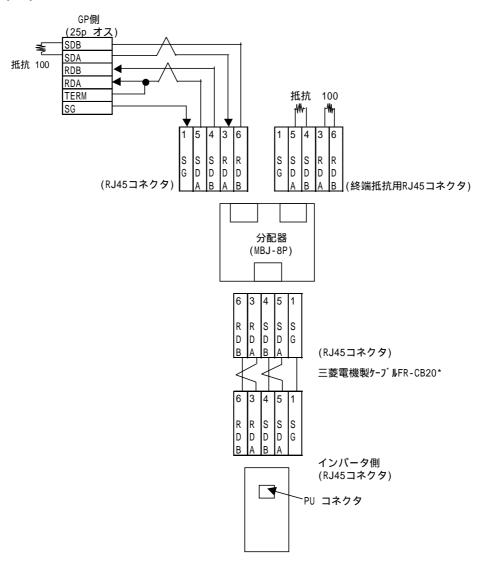
・使用ケーブル

GP/GLCとインバータ接続時には、以下のケーブルおよび分配器をお勧めします。

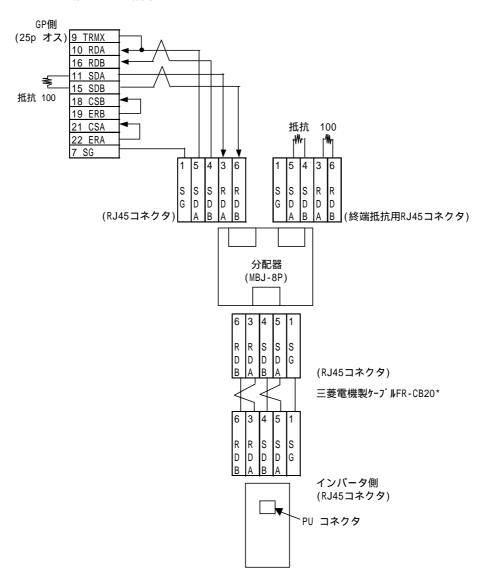
No.	項目	型式	メーカー	備考
1		FR-CB201 (1m)	三菱電機(株)	インバータ間で使用
2	ケーブル(既製品)	FR-CB203 (3m)	三菱電機(株)	インバータ間で使用
3		FR-CB205 (5m)	三菱電機(株)	インバータ間で使用
4	ケーブル(線材)	SGLPEV 0.5mm × 4P	三菱電機(株)	
5	RJ45コネクタ	5-554720-3	日本エー・エム・ピー(株)	
6	RS-485分配器	BMJ-8	(株)八光電機製作所	終端抵抗なし
0	o (市販品例) BMJ-8P	BMJ-8P	(か)八九电域袋IFM	終端抵抗あり

<結線図1>

・(株)デジタル製RS-422コネクタ端子台変換アダプタGP070-CN10-0を使用する場合

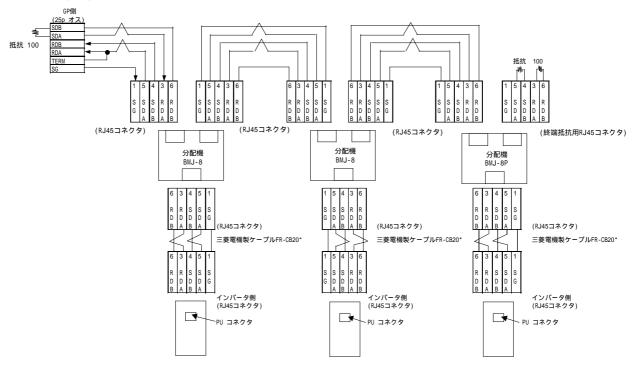


・ケーブルを加工する場合

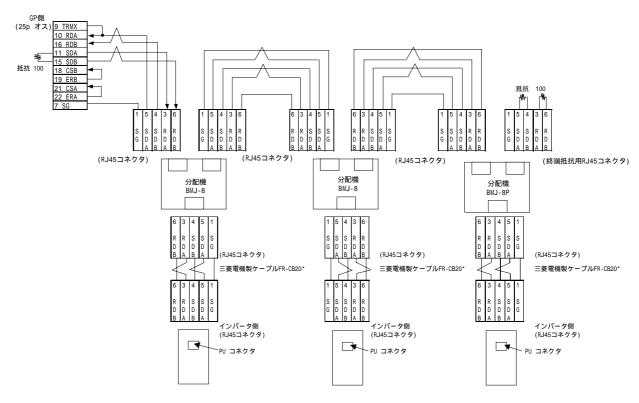


<結線図2>1:n RS-422 4線式

・(株)デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



・ケーブルを加工する場合



15.2.3 使用可能デバイス

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
パラメータ(FREQROL-S500、 E500のPr.37以外)	000000 ~ 99315	0000 ~ 0993	*1	*3
パラメータ(FREQROL-S500、 E500のPr.37のみ)	P003700 ~ P003731	P0037	*2*4	H/L
運転モード	OPE000 ~ OPE015	OPE0		*3
出力周波数[回転数]	0UTF000 ~ 0UTF015	OUTF0	*5	H/L
出力電流	OUTC000 ~ OUTC015	OUTCO	*5	
出力電圧	0UTV000 ~ 0UTV015	OUTV0	*5	
特殊モニタ	SPM000 ~ SPM015	SPM0	*5	
特殊モニタ選択No.	SSEL000 ~ SSEL015	SSEL0		
出力周波数	S0F000 ~ S0F015	S0F0	*5	
出力電流	S0C000 ~ S0C015	SOCO	*5	
出力電圧	S0V000 ~ S0V015	SOV0	*5	
周波数設定値	FSET000 ~ FSET015	FSET0	*5	1
運転速度	RUNS000 ~ RUNS015	RUNS0	*5	Ī
モータトルク	MOT000 ~ MOT015	МОТО	*5	1
回生ブレーキ	RBRK000 ~ RBRK015	RBRK0	*5	1
電子サーマル負荷率	EL0F000 ~ EL0F015	EL0F0	*5	1
出力電流ピーク値	0CPV000 ~ 0CPV015	0CPV0	*5	1
コンバータ出力 電圧ピーク値	COPK000 ~ COPK015	СОРКО	*5	1
入力電力	IP0W000 ~ IP0W015	I POWO	*5	1
出力電力	OPOW000 ~ OPOW015	OPOWO	*5	i i
異常内容(最新No.1,No.2)	A12D000 ~ A12D015	A12D0	*5	H/L
異常内容(最新No.3,No.4)	A34D000 ~ A34D015	A34D0	*5	Ī
異常内容(最新No.5,No.6)	A56D000 ~ A56D015	A56D0	*5	1
異常内容(最新No.7,No.8)	A78D000 ~ A78D015	A78D0	*5	1
運転指令	RUNCO00 ~ RUNCO15	RUNCO	*6	1
インバータステータスモニタ	INVS000 ~ INVS015	INVS0	*5	1
運転周波数書込(E2PROM)	RWRT000 ~ RWRT015	RWRTO	*6	1
設定周波数書込(RAMおよび E2PROM)	SFWE000 ~ SFWE015	SFWE0	*6	
設定周波数書込(RAMのみ)	SFWR000 ~ SFWR015	SFWR0	*6	1
設定周波数読出(E2PROM)	SFRE000 ~ SFRE015	SFRE0	*5	
設定周波数読出 (RAM)	SFRR000 ~ SFRR015	SFRR0	*5]
異常内容一括クリア	ERCL000 ~ ERCL015	ERCL0	*6*7]
インバータリセット	RSET000 ~ RSET015	RSET0	*6*7]
パラメータオールクリア	ALLC000 ~ ALLC015	ALLCO	*6*7	1
ユーザークリア	ALLC000 ~ ALLC015	ALLCO	*6*7]
リンクパラメータ拡張設定	LNKP000 ~ LNKP015	LNKP0		1
第2パラメータ切換	SECP000 ~ SECP015	SECP0		

^{*1} パラメータの詳細については、三菱汎用インバータ各機種の取扱説明書を参照してください。

^{*2} FREQROL-S500、E500のパラメータ37は、デバイス"P0037"を指定してください。

^{*3} このデバイスは32ビットデータとしての使用不可。

^{*4} このデバイスは32ビットデバイスです。

^{*5} 書込み不可です。書込みを行った場合、GP/GLC上に上位通信エラー(02:F0)が表示されます。

^{*6} 読出し不可です。読み出しを行った場合、GP/GLC上に上位通信エラー(02:F0)が表示されます。

^{*7} 書込みデータについては、三菱汎用インバータ各機種の取扱説明書を参照してください。(例: ユーザークリア H9669)

重要 ・ 前項の「使用可能デバイス」とインバータの取扱説明書に記載 されているデータコード/設定項目の対応を以下に示します。

【パラメータ読出/書込】

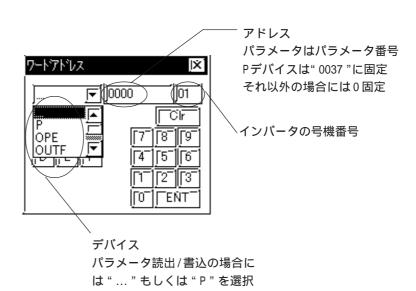
一アドレス データコード パラメ-機能 名称 リンクパ゚ラメータ拡張設定値 番号 読出 書込 <u>(データコード7F/FF)</u> トルクフ゛ースト 0 00 80 0 基 上限周波数 本 1 01 81 0 機 2 下限周波数 02 82 0 能 基底周波数 3 03 0 83

【パラメータ以外のデバイス】

- 使用可能なデバイス一覧より該当するデバイスを選択

No.	項目	 ■	命令 コ ー ド	データ内容	データ 桁数
1 (運転モート	読出書込	H7B HFB	H0000:通信オプション運転 H0001:外部運転 H0002:通信運転(PUコネクタ) H0000:通信オプション運転 H0001:外部運転 H0002:通信運転(PUコネクタ)	4桁
2	モニタ 出	力周波数]転数]	H6F	H0000~HFFFF:出力周波数(16進) 単位0.01Hz	4桁

・ デバイス入力方法 GP画面作成ソフトでのデバイスアドレス入力方法は以下の通りです。



重要・ パラメータの種類により以下の表に示すような"9999"(パラ メータの設定無効等を意味する) 等を入力する場合があります。 この場合、GLC/GPからの書込データは及び読込みデータは以下 のようになります。

No.	インバータ機種	インバータ設定値	書込みデータ	読出しデータ
1	FR-S500以外	9999	-1 (0xFFFF)	-1 (0xFFFF)
2	Trk-3000以外	8888	-16 (0xFFF0)	-16 (0xFFF0)
3	FR-S500		-1 (0xFFFF)	-1 (0xFFFF)
4	FK-3500	888	-16 (0xFFF0)	-16 (0xFFF0)

・ GP/GLCのシステムエリア(20ワード)は使用できません。 また、GP/GLCオフライン、作画ソフトでのシステムエリアの選 択画面では、見かけ上はシステムエリアを使用出来るプロトコル と全く同じ表示、動作となります。但し、システムエリアを選択 しても、常にシステムエリア非選択の状態となります。

15.2.4 環境設定例

(株)デジタルが推奨するインバータ側の通信設定と、それに対応する GP 側の通信設定を示します。

GPまたはGLCの設定		インバータ側の設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	2b i t	ストップビット	2bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御		
通信方式 RS-422使用時	RS-422 4線式		
号機番号	0 ~ 31	号機番号	0 ~ 31

設定方法

通信設定は、インバータ前面のキーの操作により行います。

インバータでの通信設定は以下のように、パラメータにより設定を行います。

No.	名称	インバータの設定値
1	局番	0 ~ 31
2	通信速度	484800bps 969600bps 19219200bps
3	ストップビット長/データ長	08/1 18/2 107/1 117/2
4	パリティチェック有無	0無 1奇 2偶
5	交信リトライ回数	0~10, 9999 もしくは ^{*1}
6	交信チェック時間間隔	0以外に設定 ^{*2}
7	待ち時間設定	9999もしくは
8	CR,LF有無設定	1CR ON

^{*1}設定値は使用される環境に応じて変更してください。

^{*2} 設定値は0以外の値で、使用される環境に応じて変更してください。

15.2.5 エラーコード

<インバータ特有のエラーコード>

インバータがサポートするエラー番号を記載します。

各エラー番号は、(02: :)とGLC/GPの画面左下に表示されます。(は下記の「GLC/

GPで表示されるエラー番号、 は発生したインバータの号機番号」

参考:三菱電機(株) インバータ各シリーズの「取扱説明書」

エラーコード

エラーコード	エラー名称	説明
00	計算機NAKエラー	
01	パリティエラー	GLC/GPのパリティの設定に誤りがある。
02	サムチェックエラー	ノイズ等により通信データに異常が発生した。
03	プロトコルエラー	
04	フレーミングエラー	ノイズ等により通信データに異常が発生した。 もしくは、ストップビットの設定に誤りがあ る。
05	オーバーラン	
06		
07	キャラクターエラー	
08		
09		
OA	モードエラー	計算機リンク運転モードでない時や、インバー タ運転中の時などにパラメータの書き込み等を 行なおうとした。
0B	命令コードエラー	作画時に存在しないアドレスを設定した。
OC	データ範囲エラー	パラメータ、運転周波数書込み等で設定可能範 囲外のデータが指定された。
OD		
0E		
0F		

* インバータの仕様により、複合的なエラーがあった場合には番号の大きいエラー番号が表示されます。